

公益財団法人遺伝学普及会

contents

- ①評議員のひとこと
遺伝学普及会をご支援下さる皆様方へ
- ②トピックス
「公開講演会」
「夏休み子ども遺伝学講座」
サイエンスNOW
- ③予定
「遺伝学講座・みしま」
「寺deサイエンス」
雑誌「遺伝」
- ④公益財団法人遺伝学普及会の概要
沿革、目的、維持会員、役員紹介

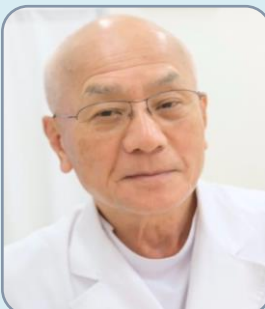
～評議員のひとこと～



評議員：池村 淑道

生命の設計図であるゲノムは遺伝学の主要な研究対象ですが、その重要性から膨大な研究データが蓄積しています。このビッグデータから知識発見を行うには、人工知能が威力を発揮します。私と共同研究者らは、人工知能の威力に気付き、世界的にも早い時期からゲノム研究に応用して来ました。人工知能を遺伝学分野で普及させたいと考えています。

人生百年時代と言われ、研究者・科学者も自身のライフデザインが重要になって来ました。大学や研究所を退職後に、それまでに蓄積して来た知識を、後進の育成を含む社会活動に役立てられたと思います。その活動をシニア世代がグループとして考え、実践する場として「シニア科学アカデミー：日々思考実践院」が普及会に設けられました。興味をお持ちの方々の御参加をお待ちしております。



評議員：勝部 定信

私はこれまでに7000件ほどの手術を行った一臨床整形外科医に過ぎない。半数近くが関節症で、人工関節手術による機能回復を目指してきた。成績は良いが、あくまで人工物を用いてのことである。関節症は加齢と共に荷重関節の軟骨層が変性・摩耗する疾患で、本邦では700万人程度の方々が行歩困難を感じている。変形性股関節症の前状態である臼蓋形成不全が4世代に渡って発症した家系の研究から、その発症はメンデルの常染色体優性遺伝形式によることが判明し、発症遺伝子が13番染色体長腕上に発見された。股関節症の発症を防御できる可能性がもたらされたことになる。もとより原因は一つではないが、学生時代、臼蓋形成不全は分娩時に起こる合併症であると学んだ。

遺伝学普及会をご支援下さる皆様方へ

日頃より、遺伝学普及会にご支援、ご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ご存じのように、平成26年(2014年)4月1日より、内閣府から公益財団法人の認定を受け、新法人として活動を発展的に継続する運びとなりました。

この公益財団法人では、寄付金に税制の優遇措置が与えられますことから、遺伝学普及会としてはできる限りのご支援を寄付金という形でいただき、この法人の定款に沿った目的を最大限果たしていきたいと考えております。

皆様方のご協力とご支援を賜りたく存じます。

寄付金申込用紙に必要事項を記入し、いつでもお申込くだされば幸いです。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

共同代表理事 五條堀 孝
共同代表理事 小林 武彦

<お問合せ先>

公益財団法人遺伝学普及会事務局

〒411-8540 静岡県三島市谷田1111

TEL: 055-981-6857 FAX: 055-981-6877

<https://www.idengaku-fukyukai.info/>

e-mail:genetics@nig.ac.jp

国立遺伝学研究所創立70周年記念 「公開講演会」開催（2019.7.12.Fri）

日時：2019年7月12日（金）14時～16時半
場所：学術総合センター2階 一橋講堂 中会議室

研究者や市民約100名が参加しました。国立遺伝学研究所設立から今日までの歴史や、各先生方の最先端の研究のお話に皆さん興味深く耳を傾けていました。より詳しく聞きたい！という声が多かったです。



前日7月11日（木）には、「さいえんすパプ三島」第二回がしげの家（三島市広小路町11-22）にて開催されました。
ホスト：斎藤成也先生
ゲスト：五條堀孝先生



国立遺伝学研究所 創立70周年記念
公益財団法人 遺伝学普及協会 主催
公開講演会

日時 2019年7月12日（金）
14:00～16:30（開場13:30）
場所 学術総合センター2F 中会議室
入場無料・要申込み・先着100名様

はじめに 小林武彦（東京大学 教授）

来賓挨拶 花岡文雄（国立遺伝学研究所 所長）

講演 1 ゲノムからみた現生人類の由来
高畑尚之
総合研究大学院大学 元学長・名誉教授

講演 2 めざせ、ゲノム情報社会！
～遺伝学研究からの社会ビジョン～
五條堀孝
国立遺伝学研究所 名誉教授
アフラビオ工学振興大学 特別栄誉教授

講演 3 バンタマウスの物語
城石俊彦
理化学研究所バイオメトリクス研究センター 長

おわりに 斎藤成也（国立遺伝学研究所 教授）

お申込み・お問い合わせ先
公益財団法人遺伝学普及協会
〒413-8501 三島市三島1-1-1111
TEL:053(941)3687 FAX:053(941)3677
〒413-8501 三島市三島1-1-1111
TEL:053(941)3687 FAX:053(941)3677
〒413-8501 三島市三島1-1-1111
TEL:053(941)3687 FAX:053(941)3677

主催：公益財団法人遺伝学普及協会 後援：公益財団法人遺伝学普及協会、公益財団法人遺伝学普及協会、公益財団法人遺伝学普及協会

夏休み子ども遺伝学講座開催（2019.7.30.Tue）

日時：2019年7月30日（火）
場所：国立遺伝学研究所 講堂
時間：午前（9時30分～12時）、午後（13時30分～16時）
講師：宮城島 進也（国立遺伝学研究所教授）

定員を大幅に超えるお申込みに、宮城島先生の御厚意で2部構成に切り替え皆さん参加することができました。

4つの班に分れ、テニスコート横、玄関横の池から水を採取し、高性能顕微鏡で観察しました。植物プランクトン（ケイソウ、ツツミモ、ウズベンモウソウ、）や動物プランクトン（ワムシ）など多くのプランクトンを観察することができました。



公益財団法人遺伝学普及協会×三島市共催事業

夏休み子ども遺伝学講座
顕微鏡で植物プランクトンを観察しよう

夏休みの自由研究にぴったり！

とき：7月30日火曜日
午前9時30分～12時まで
午後13時30分～16時まで

ところ：国立遺伝学研究所

対象：市内在住の小学4年生から6年生

定員：30名

講師：宮城島 進也 教授（国立遺伝学研究所）

お申込み・お問い合わせ先
公益財団法人遺伝学普及協会
〒413-8501 三島市三島1-1-1111
TEL:053(941)3687 FAX:053(941)3677
〒413-8501 三島市三島1-1-1111
TEL:053(941)3687 FAX:053(941)3677

電子申請はこちらから
http://www.777fm.com

申し込み締切日：令和元年7月16日（火）まで

サイエンスNOW 全国放送決定！

FMみしま・かなみ（ボイス・キュー）で放送中の「サイエンスNOW」が、7/7（日）より全国放送されることになりました！
もちろん、毎週日曜日12:00～12:30 も絶賛放送中です！

局名：MUSIC BIRD for Community FM
（全国のコミュニティー放送局へ配信）
日時：毎週日曜日朝4時30分～
（放送内容はボイスキュー前週の放送）



過去の放送は、you tubeでも聞けます
<http://777fm.com/blog/science/>

Upcoming Events

遺伝学講座・みしま (2019.9.29.Sun)

三島市との連携と協力により、生命科学の分野で最先端の研究成果をあげる教授陣が市民向けに分かりやすく講演いたします！

日時：2019年9月29日 (日)
 場所：三島市民文化会館 小ホール
 時間：18:00～20:00

講師：川上 浩一 (国立遺伝学研究所教授)
 「モデル生物ゼブラフィッシュで生命の謎を解く」
 講師：鈴木 えみ子 (国立遺伝学研究所准教授)
 「ミクロの世界の遺伝学」
 ～電子顕微鏡で解き明かす生命の不思議～

第2回「寺deサイエンス」(2019.10.11.Fri)

前回好評だった「寺deサイエンス」の第2回を開催します！
 テーマは、「～新聞・テレビ・ラジオから学ぶサイエンス～」です。

- 【第1部】科学記事をどう読むか
 話し手：川内十郎氏 (静岡新聞社文化生活部長・論説委員)
 聞き手：五條堀 孝 (遺伝学普及会共同代表理事、
 サウジアラビア科学技術大学特別栄誉教授)
- 【第2部】NHKスペシャル制作者が語る、驚きカガク舞台裏
 話し手：結城仁夫氏 (NHK科学番組チーフ・ディレクター)
 聞き手：小林 武彦 (遺伝学普及会共同代表理事
 東京大学教授)

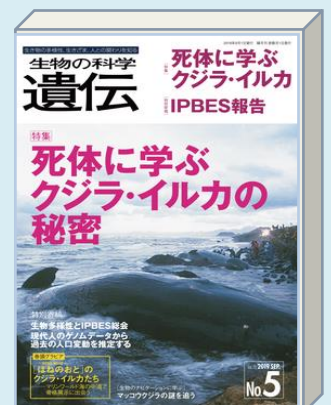
日時 令和元年10月11日 (金)
 19時00分～20時30分
 場所 君澤山 蓮馨寺
 (三島市広小路町1-39)
 対象 サイエンスに関心のある一般の方 70名
 (応募者多数の場合は、維持会員の方優先の上他は抽選)
 参加費 1000円



雑誌「遺伝」2019.No6発行

奇数月1日、隔月に刊行されている、生物の科学「遺伝」の、
 2019年11月発行号 Vol.73 No.6が、11月1日に刊行されます。
 [特集] 世界のミツバチ/ミツバチの生産物
 [特別寄稿] 国立遺伝学研究所の70年

生物の科学「遺伝」バックナンバー
 2019年9月発行号 Vol.73 No.5
 [巻頭グラビア] イルカの世界
 [特集] 死体に学ぶ
 クジラ・イルカの秘密



沿革の抜粋

昭和22年（1947年）5月23日 国立遺伝学研究所設立の準備母体として（財）遺伝学研究所を設立
昭和25年（1950年）11月10日 （財）遺伝学普及会に改称
平成26年（2014年）4月1日 内閣府の認可を受け、公益財団法人遺伝学普及会となる
平成29年（2017年）4月1日 日本遺伝学会が、（公財）遺伝学普及会の所属団体となる

目的（定款の抜粋）

この法人は、目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1） 遺伝学に関する研究の助成
- （2） 遺伝学に関する講演・講習会の実施
- （3） 遺伝学に関する図書・雑誌の編集及び刊行
- （4） 遺伝学に関する教育資料の頒布
- （5） 動植物に関する優良品種の普及
- （6） その他目的を達するために必要な事業

維持会員（2019年8月現在）

団体会員

株式会社裳華房代表取締役社長	吉野 和浩
株式会社トミ精工代表取締役社長	富永健二郎
日本クリア株式会社代表取締役	木本 重信
株式会社池田理化代表取締役	高橋 秀雄
株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役	吉田 隆
遠藤科学株式会社取締役社長	遠藤 一秀
順天堂大学医学部附属静岡病院院長	三橋 直樹
三島信用金庫理事長	平井 敏雄
三島市市長	豊岡 武士
三嶋大社宮司	矢田部盛男

個人会員

公益財団法人平和中島財団理事長	中島 潤
(株)新健食・富士ウエルネスセンター 代表取締役	佐々木 雅浩
石渡税理士事務所 税理士・行政書士	石渡 清司
静岡コンサルタント株式会社 代表取締役	森崎 祐治
しげの家 店主	芹沢 茂

役員（2019年8月現在）

代表理事

五條堀 孝	アブドラ国王科学技術大学 ディスティンディングイッシュト・プロフェッサー 国立遺伝学研究所名誉教授
小林 武彦	東京大学 定量生命科学研究科教授

業務執行理事

城石 俊彦	理化学研究所 バイオリソース研究センターセンター長
斎藤 成也	国立遺伝学研究所教授 ・東京大学大学院教授(兼任) ・総合研究大学院大学教授

理事

遠藤 隆	龍谷大学教授
------	--------

監事

佐藤 清	国立遺伝学研究所 NBRP広報室顧問
------	--------------------

評議員

山口 建	静岡県立静岡がんセンター総長 (兼)研究所長 (併任)静岡県理事
石和 貞男	お茶の水女子大学名誉教授
池村 淑道	長浜バイオ大学客員教授(名誉教授) ・国立遺伝学研究所名誉教授
勝部 定信	整形外科函南クリニック院長
菅原 秀明	国立遺伝学研究所名誉教授
高畑 尚之	総合研究大学院大学元学長・名誉教授
川内 十郎	静岡新聞社文化生活部長兼論説委員
桜井 豊	沼津市民文化センター館長
颯田 葉子	総合研究大学院大学教授
峰田 武	公益財団法人佐野美術館名誉会長
花岡 文雄	国立遺伝学研究所所長
吉田 隆	株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役社長
岩崎 博史	東京工業大学教授